

2010. 3. 1

東京学芸大学

平成19年度文部科学省 学生支援GP採択

学芸カフェテリアによる 学修・キャリア支援

—全学の援助資源の活用と
最適化された学生支援プログラムの開発—

報告者： 学生キャリア支援センター 入江千代子

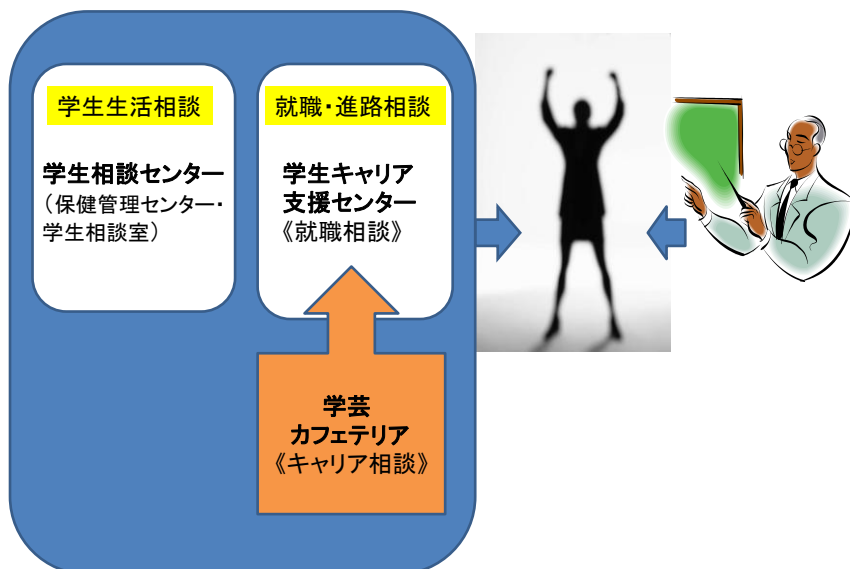
1

学生への相談体制

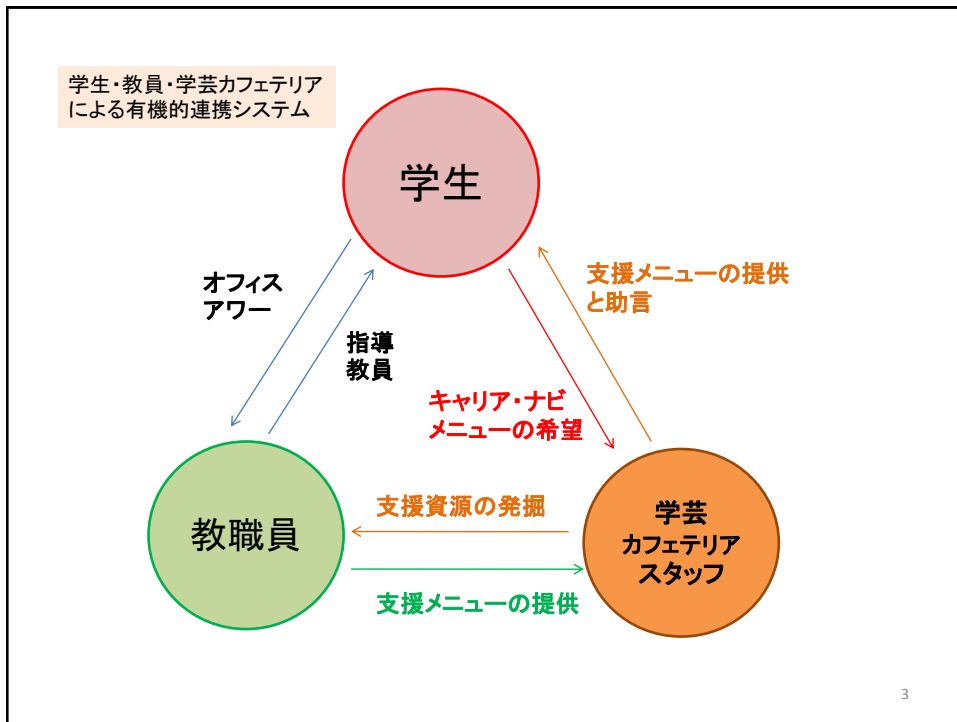
総合学生支援機構

学生

指導教員



2



学芸カフェテリア取組における4つの柱

- a. 講座の開設
- b. Webサイトの構築
- c. キャリア・ナビ（相談）
- d. オフィス運営

東京学芸大学
学生情報トータルシステム

LiveCampus
Academic Affairs System

for Students

タイムアウトまであと1792秒です。
>>> Logout

Login User

履修関連

- 履修登録
- 履修登録(集中授業専用)

時間割関連

- 個人時間割
- 試験時間割

成績情報関連

- 成績情報の参照
- 単位修得情報の参照
- カリキュラムの参照

学生情報関連

- 学籍情報の参照
- 学籍情報の更新
- 教員免許の一括申請
- 海外渡航情報の登録・修正
- 健康診断情報の参照

教育実習関連

- 内証報告書情報の登録・修正
- 内証報告書情報の参照
- 内証報告書用依頼・回答文書出力
- 参加申込書情報の登録・修正
- 参加申込書情報の参照
- 調査票・申告票情報の登録・修正
- 調査票・申告票情報の参照

What's New!!

新着表示板情報
2008/06/26 ■ ノートテイク講習会の開催

学芸カフェテリア
OPEN!

学修・キャリア支援のための
メニューがたくさん！
今すぐエントリーしよう!!

5

2009年度の取り組み

(1) 講座の開設

- ① 内部資源の発掘の拡大
- ② 学生のライフサイクルに合わせた講座開設
- ③ 学びの蓄積

(2) Webサイトの構築

- ① 「カレンダー・ページ」の登場
- ② 「マイ・ページ」の活用

(3) キャリア・ナビ

(4) カフェ・メイツの活動

(1) 講座の開設①

◎内部資源の発掘の拡大

	学内 教職員	OG/OB	その他	合計	総数
2008年 前期	11	3	0	14	48
後期	28	0	6	34	
2009年 前期	20	2	4	26	60
後期	18	9	7	34	

7

(1) 講座の開設②

◎学生のライフサイクルに合わせた講座開設

前期: 仕事を知るシリーズ・公務員編
 教員としての指導力を養う講座
 自己表現シリーズ
 (日本語力・文章力・表現力)

後期: 仕事を知るシリーズ・企業編(OG/OB)
 →単なる業界紹介ではなく
 個々の体験談(意思決定)を盛り込む

8

(1) 講座の開設③

◎学びの蓄積

講座後のシェアリングの充実



学びを【言葉にする】

参加者同士の理解を共有と自分への気付き



「今日の学び」を【書く】(文章力・分析力・表現力)



マイ・ページへの転記(学びのポートフォリオ化)

9

シェアリングの効果

◎シェアリングの積み重ね

⇒後半の講座は、質疑応答で発言が増える

◎「学び」を文章化する

⇒考えていることが明確になる効果

◎講座の充実(仕事を知るシリーズなど)

⇒自分・将来について考えが深まる

⇒講座の目的が達成される

10

シェアリングの傾向分析①

後期講座の「今日の学び」の記述を分析

<【過去・現在】に焦点化>

- ・自分の現状の把握・見つめなおし
- ・自分に足りないものの気付き
- ・不安の軽減 ・講座参加の意味
- ・新しい情報や視点の獲得(イメージとのズレ)
- ・自分なりの解釈(クリティカルな視点)
- ・大学生活の振り返り
- ・他者との関係・他者への配慮

11

シェアリングの傾向分析②

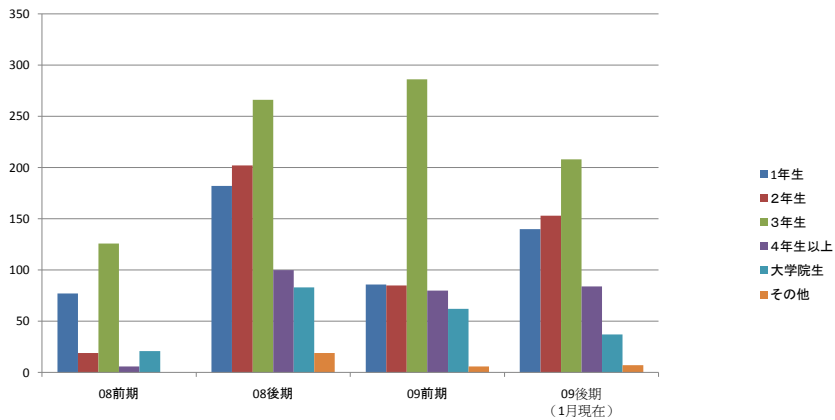
<【未来】に焦点化>

- | | |
|-------------|-------------------|
| <u>自分</u> | ・新たな可能性・方向性の発見 |
| <u>就職活動</u> | ・モチベーション・心構え |
| | ・新たな情報や視点の獲得 |
| <u>仕事</u> | ・イメージの具体化・心構え・職業観 |
| | ・モチベーション・仕事に対する姿勢 |
| | ・社会の一員になることとは |
| <u>生活</u> | ・大学生活の充実・心構えの再確認 |
| <u>生き方</u> | ・精神の支柱 |
| | ・目指す人間像(講師をモデル化) |

12

講座の参加人数の推移

2008年～2009年



13

(2) Webサイトの構築①

◎カレンダーページの追加

特徴: 主催団体ごとに色分けして表示

例: こども未来プロジェクト

創立60周年記念行事



教職員から行事の掲載依頼が増

14

(2) Webサイトの構築②

◎「マイ・ページ」の活用

個人の受講講座一覧にメモ欄(1000字)



講座での「学び」を積み上げる

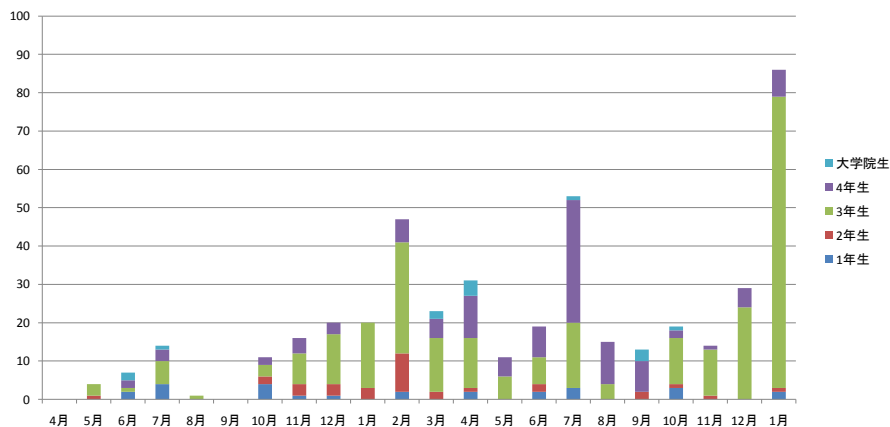


ポートフォリオとして活用

15

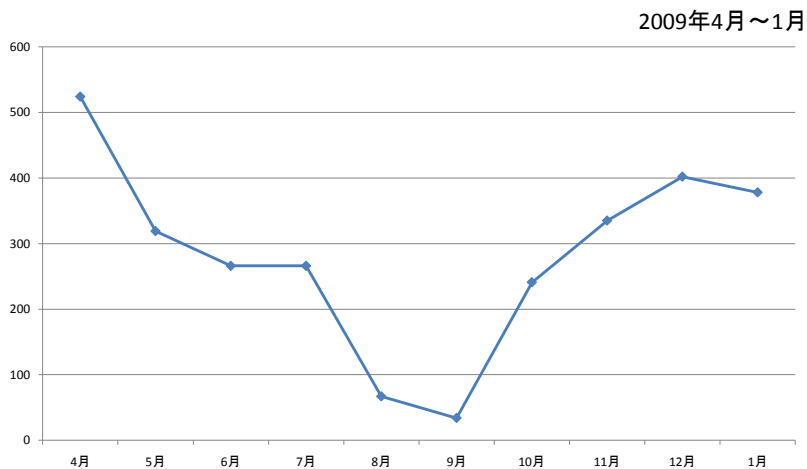
(3) キャリアナビ件数の推移

2008年4月～2009年1月



16

2009年度 オフィス利用者数の推移



17

(4) カフェ・メイツの活動

- ① 講座の運営手伝い
- ② 学生企画講座の立ち上げ (3講座)
- ③ キャリア支援フリーペーパーの発行
- ④ 記録作成 “2009年 進路の歩み”

18

学生協力講座

◎英語ディスカッション講座（講師：番田）
（2009年11月～1月・全9回）

学生が話題提供をするランチ講座（30分）



プレゼンテーション力
ファシリテーション力
英語力

19

ご清聴いただき
ありがとうございました。

20